

栄村総合戦略推進委員会（協議事項のみ）

◆協議事項

1) 平成 28 年度交付金事業の評価について

【平成 27 年度（繰越）地方創生加速化交付金事業】

○事業名 DMO 構築による山岳観光推進事業・・・資料 1

担当課より事業総括表により説明する。

（委員）交付金 363,000 円は村の負担額なのか。また、信越自然郷全体ではどの程度の事業規模か。

（担当）交付金の 363,000 円は栄村の負担額です。事業規模については、手持ちの資料がないので分からない。

（委員）評価実績値の 10.6 万人は信越自然郷全体か。

（担当）栄村の実績数値となっています。

（委員）平成 27 年度の実績はどれくらいか。この数値だけでは成果が見えないが。

（担当）毎年 10 万人程度となっています。観光客数は横ばい状態で、傾向として近年は宿泊者数が減少しており、通過型の観光となっている状況です。

（委員）信越自然郷の事務局は飯山市にあるが、構成市町村 9 市町村全体に広がるような事業計画になるよう働きかけてほしい。栄村まで効果がでていないように思われる。県にも責任があるが、栄村まで連れてくるような企画を村からも強く要望してほしい。

（担当）今年 10 月に木島平村のカヤの平から、秋山郷へのツアーを 2 回実施している。

（委員）YouTube 表示回数 395,594 回というのは、多いのか。

（担当）ブログは 1 ヶ月で 1 万回は多い方なので、14 日間で 39 万回は多い。

（委員）冬体験 6 回催行とあるが、どこで行ったのかわからないが、1 回くらい栄村で行ってほしい

（委員）サイクルステーションの栄村の利用はどれくらいなのか。

（担当）栄村は駅前の「絆」をサイクルステーションとしている。飯山から栄村へ来た自転車が 2 台ほどあった。

（委員）高原シャトル便の効果はどうだったのか。

（担当）平成 28 年度は無料だったため、よかったという意見が多かった。

○事業名 苗場山麓ジオパーク推進事業・・・資料 2

担当課より事業総括表により説明する。

（委員）栄村のジオガイドは、どのような方がなっているのか。

（担当）役場職員や商店の方などで、宿泊業の方は現在のところいない。

- (委員) ツアー参加者 7,590 人とあるが、村への効果はどうか。また、KPI の実績値 10.6 万人の内訳はどうなっているのか。
- (担当) ジオサイトは全部で 57 箇所あり、栄村はその内 34 箇所。参加者は津南町から栄村などへ移動するので重複もあるが、KPI の実績の内訳は、千曲川沿線 76 千人、秋山郷 24 千人、登山者 6 千人程となっている。
- (委員) 栄村のジオガイドの状況はどうなっているか。
- (担当) 試験に合格しジオガイドに認定されても、案内方法や話し方などが求められる。
- (委員) ガイドとして使っていただければ「うれしい」という人もいるので、ぜひ活用してほしい。
- (委員) 村独自の事業はないのか。
- (担当) 基本的に津南町との連携事業。栄村ではこの交付金事業とは別に、モデルルートを作り公民館事業として実施している。
- (委員) 秋山郷の民宿の方で、村のガイドがいる事を知らず津南町のガイドをお願いしている。村にもガイドがいる事を周知した方がいいのではないか。
- (担当) 現在ジオガイドの申込みは「ガイドの会」という組織があり、津南町の観光協会が窓口になっている。ガイドに支払う報酬の関係もあり、個人への依頼は難しいと思われる。

○事業名 新潟県ジオパーク資源を活かした広域観光推進事業・・・資料 3

担当課より事業総括表により説明する。

(委員) 今後の開催予定はあるのか。

(担当) 今のところ予定はない。

【平成 28 年度地方創生推進交付金事業】

○事業名 苗場山麓ジオパーク推進事業・・・資料 4

担当課より事業総括表により説明する。

(委員) 目標と実績値が、加速化交付金と推進交付金で違う理由は何か。

(担当) 計画策定は企画財政で行っているが、目標値の設定にあたり国等の指導もあったと思う。

(委員) 秋山郷は津南町も含まれるので、津南町も含めて評価するのがよいのか検討が必用。看板作成については良いと思う。看板がないとビューポイントも分からず通り過ぎてしまう。しかし、秘境に看板はいらないという意見もあるので、そのあたり検討が必用。ガイドがいないと良さも分からないので、ガイドの窓口は津南町にあるとの事だか、ガイドをうまく使えるような検討が必用。

2) 総合戦略の取組み状況について・・・資料5

担当より取組み状況について説明する。

(委員) 事業評価するにあたり、実績数値を出すだけではなく、A、B、C、Dとランク付けして自己評価をすべき。村民はこれだけ見ても、良かったのか、悪かったのか分からない。評価を分かりやすくする検討をお願いしたい。

「農林畜産業の振興対策」の中で、基準値と相違した実績値としたものがある。事業実施する中で、より良い基準値・目標値に変更する必要がある。

(委員) 「出産・子育て対策」に「子育て環境満足度」とあるが、どうやって図っているのか。どのように意見を聞いているのか。目安箱もあるが、本当の気持ちや思いを言えないので、アンケートを取ってもらいたい。

(委員) 子育て支援ルームで、利用者にアンケートを取っているのか。

(担当) メールや目安箱ではなく、相手が特定されない方法も検討したい。しかし対面的対応も必要かと思うので、様々な機会を通してご意見を頂きたいと考える。

(委員) 実績数値として表現できない成果もあると思う。質的な評価として相談にのったり、サポートすることによる成長もあると思う。文章や文字で成果を評価する方法もあっていいのではないか。村民も共感できるのではないか。

(担当) 評価方法について、今後検討させていただきたい。

(委員) 実績数値として、特定健診受診率、国民健康保険医療費、デマンドバス利用者数が下がっている原因は何か。また、その対策は。デマンドバスの使い勝手はどうか。

(担当) デマンドバスについて、村の人口も減っており、高齢者も減っている。このため、今後利用者が大きく増える事はないが、免許返納後に利用するという方はあると考える。特定健診受診率にあっては、実績が下がってはいけない。医療費も含めて確認したい。

(委員) 医療費は下げるといふ目標なのかもしれない。医療体制を充実させれば医療費は上がる。医療費を目標とするのは如何なものか。事業を進める上で、相応しくない目標や指標は変更を検討していただきたい。

3) 平成29年度交付金事業の実施状況について・・・資料6

【事業名 DMO 構築による山岳観光推進事業】

担当より実施状況について説明する。

【事業名 苗場山麓ジオパーク推進事業】

担当より実施状況について説明する。

質問事項なし。